

第 2 3 3 回 J M R C 中部運営委員会報告書

日時：2013年12月3日 20:00~22:00

場所：名古屋市昭和区福江 JAF 中部本部 3F ミーティングルーム

《議題》

1. ラリー互助会について
2. 来年度カレンダーの承認
3. 来年度体制及び代表者会議案の確認
4. 各部会・委員会報告

《議事録》

議題	ラリー互助会について
担当	ラリー部会
決議	報告のみ ・ 承認 ・ 却下 ・ <u>継続審議</u> ・ その他
審議内容	<p>1. 経緯の説明</p> <p>新城ラリーにおける単独事故に対する互助会の適用について、工事見積金額が約90万円となり、当初予測を大幅に超える金額となることが判明した。</p> <p>見積額については、事故現場が県道で有ることから所轄の正式対応が必要となり事務所経費等、県道向け対応金額となったとの説明が有った。</p> <p>適応ケースとしては初めてのことであり、請求手順、支払手順、今後の対応等について審議を行った。</p> <p>2. 申請手順について</p> <p>①申請は、本人が行う。(本人が申請を出来ない状況に有る場合は未審議)</p> <p>②申請は、事故報告書(ラリー部会事務局に有り)、修理見積書、事故現場の写真と共に J M R C 中部事務局に申請するとした。</p> <p>③事故報告書は本人、当該競技会の競技長または主催クラブ代表者の署名が必要とした。</p> <p>3. 互助会の対応手順、内容の確認</p> <p>①今回、支払額がストック額を超えるため、不足額を一般会計から借り入れ、借入額がストック出来た時点で一括返済するとした。</p> <p>②工事見積について、見積金額の妥当性についてはラリー部会でも確認して欲しい旨の要望が有った。</p> <p>4. 支払先について</p> <p>本人が工事業者と契約し、支払いまで行き、後日領収書を提出し清算するとしたが決定に至らず継続審議とした。</p> <p>5. その他</p> <p>①今回のケースは、状況をみて臨機応変に対応するがラリー部会にて適切にフォローアップし、できる限り迅速に正確な状況報告をすることとした。</p> <p>②加入者は保険の代用では無いことを認識すること、借入金の返済計画を明確かつ整合性のあ</p>

	るものすべきで再度ラリー部会で整合性のある互助会の有り方を協議し、運営委員会に提出する。その後、今後の方針を検討するとした。
アクションプラン	1. 事故当人との状況・今後の方針の摺合せ： 担当：武山、サポート：ラリー部会 2. 今後のリスクテイク、原資・支払のプランを明確にする ラリー部会：MS・Dayにてラリー部会で協議し、運営委員会に報告する
担当	事務局、ラリー部会

議題	来年度カレンダーの承認
担当	運営委員会・各専門部会
決議	報告のみ ・ 承認 ・ 却下 ・ 継続審議 ・ その他
審議内容	JMRC中部シリーズ戦のカレンダーは、11月の運営委員会に提出、承認を受けるべきであるが部会からの提出が遅れ、承認されていなかったことから予算編成等に影響が有った。このことを踏まえ以下のこととした。 1) 各部会とも期日を守って提出すること ダートトライアルカレンダーは当日の報告が有り以下を仮承認した ①選手権全8戦、ミドル：東海4戦、北陸8戦(5戦単独開催) ②補助金対象は北陸5戦分となる 2) ラリー、ジムカーナは後日事務局に提出し、運営委員会の承認を受ける事にした。
アクションプラン	・ 今回の予算は仮承認、後日早急にカレンダーを総務委員長まで提出するとした。
担当	ラリー部会、ジムカーナ部会

議題	来年度役員体制及び代表者会議案の確認
担当	事務局：武山、総務：石井
決議	報告のみ ・ 承認 ・ 却下 ・ 継続審議 ・ その他
審議内容	1. 来年度役員メンバーの確認及び承認 1) 2014年度運営委員 鈴木運営委員長は2013年度運営委員15名の全員を再指名し、第33回代表者会議で承認を受けることとした。 2) 2014年度理事会理事 近藤理事が逝去されたので名簿から削除した。新規推薦は無し。 2. 代表者会議資料ドラフトの確認 提出資料に基づき審議を行った。 1) 1号議案：2013年活動報告 資料に基づき活動内容を確認した。 2) 2～5号議案（諸決算）

	<p>決算内容について確認し、承認した。</p> <p>3) 6号議案 前記のとおり、運営委員長は15名の全員を再指名した。</p> <p>4) 7号議案：活動計画の確認 ①基本方針と重点項目は昨年度を継承する。 ②運営委員会開催スケジュールを確認した。 ③各部会、委員会の活動計画を確認した。</p> <p>5) 2014年予算案について 資料に基づき審議を行った。 予算説明：専門部会活動費・交通費を本年度実績ベース（現実に即した）に予算編成した。同じく、モータースポーツ振興事業費、ミドル戦補助金を現実に即した予算編成をした。</p> <p>確認事項 ①イベント予算：来年度はオールスターラリが開催がありジムカーナ、ダートラ共にオールスター／西フェスが遠方開催となる。その交通費やケータリング予算については、予備費からの補填にて行うとした。 ②表彰式、パーティ費：シリーズ協力金と同額程度を見込んでおく ③予算案に加え、確認項目にて仮承認したが修正版を運営委員会メンバーに後日送付し承認を受ける事にした。</p> <p>3. MS-Day 2014の計画確認</p> <p>1) 代表者会議進行について 資料に基づき例年通りの進行で行うことを確認した。</p> <p>2) 表彰式に全日本ラリー上位表彰対象者を招待する提案について 部長からの提案であったが地方選手権戦に特化するので招待しないことにした。</p> <p>3) スケジュール等の確認 ①土曜日のタイムスケジュールは昨年と変わらない。 ②運営委員の交通費は自費負担とする。 ③ミドルシリーズの表彰はチャンピオン戦の表彰終わった後に行う ④表彰式などの開催に必要であれば要員要請を行う（事務局→該当者） ⑤表彰式招待者名簿の確認。誤記訂正は事務局長に連絡する。 ➤ 走行会のエントリー用紙をホームページに掲載</p>
アクションプラン	<p>修正版予算案の送付： 総務</p> <p>MS-Day 走行会案内&エントリー用紙のホームページへの掲載： 総務</p>
担当	<p>総務</p>

議題	各部会報告
担当	各部会
決議	報告のみ・承認・却下・継続審議・その他
報告内容および関連意見	<p>●ジムカーナ部会報告</p> <p>J M R C 中部シリーズは前年同様、東海は減少（選手権戦に移動か）。北陸も減少、パワーステージが有効に効いていない。新規参加が増えなかった。意見交換会 4 回開催したが意見は出るがまとまらなかった。</p> <p>1) J A F カップ報告：</p> <ul style="list-style-type: none"> 178 台参加、大枠問題なく終了した。ダートラ・ラリー部会のケータリング協力を感謝。 ・ラリー部会のから揚げが非常に好評→ほとんどプロがやってた ・ジムカーナはほとんど丸投げ、もう少し自分たちでの工夫を考えてほしかった →300 食準備というハードルが高く、外部にゆだねてしまった ・マフラー交換した車は問題でたか →特に問題は出ていなかった ・当初の懸念に比べて参加者へ何も指導・連絡は全くなかったのは非常に違和感があるが、本当に音量の問題はあるのか？ ・この経験に基づいて、再度マフラーの問題を再考してほしい。 <p>2) 規則変更など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミドル戦に RA2000 新設、PN クラスの導入 ・PN クラスのタイヤを全日本選手権戦と統一した。 ・N1 クラス廃止、2 年連続で不成立のクラスは次年度より廃止する。ただし、申請があれば新設も可能である。 ・来年度ミドル戦補助金対象は東海 4 戦、北陸 5 戦となる。 <p>●ダートラ部会報告</p> <p>ハイブリッド車両の対応マニュアルを J A F から入手した。</p> <p>●ラリー部会</p> <p>1) シロキヤラリー：11月16、17日に豊根村で初開催のデイラリー開催。 非常にスムーズな運営であった。来季のオールスター開催に期待する。 チャレンジシリーズは16台増えて31台参加。着実に底辺層が拡大している。</p> <p>2) ラリーセミナー：11/30にMRT-金沢が開催。10台程度参加があった。</p> <p>3) 来年度のカレンダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ、チャンピオンとも3戦ずつ開催予定（AND が辞退） ・ミドル戦の補助金対象は M A S C のジュニア戦のみが該当する。 <p>これに関連し、カレンダーは速やかに提出してほしい旨の要望が有った。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●レース部会 2014年は2月9日にレスキュー講習会を鈴鹿サーキットで開催予定している。 ●審査員グループ 今年度の反省と来年度メンバーを確認した。特に問題なし ●支部連絡委員会 特になし。 ●JAF技術部会 特になし。 ●JAF登録部会 12月に審判員講習会開催される。 ●JAFラリー部会 特になし。 ●JAF中部本部 <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ更新を早めをお願いしたい。 ・承認クラブだったルマンが準加盟に申請があった。
アクションプラン	
担当	

以上
報告：総務広報委員会